

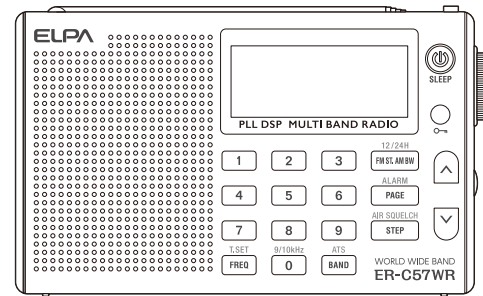
ELPA
ER-C57WR

取扱説明書
保証書付

WORLD RADIO

ワールドラジオ

MW(AM) / FM / SW / LW / AIR



このたびはER-C57WRをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。お使いになる前に、この説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、本書を大切に保管してください。

ELPA 朝日電器株式会社

〒574-8585 大阪府大東市新田旭町4-10 <http://www.elpa.co.jp/>
お客様窓口 大阪 072(871)1166 東京 042(473)0159

RA140620A

もくじ

■エアバンドについて	1
■LW/SWについて	2
■安全上のご注意	3
■各部の名称	7
■電源について	10
電池を使用する	10
ACアダプターを使用する	10
■時刻を設定する	11
■ラジオを聴く	12
マニュアル選局する	14
オートスキャン選局/登録する	15
ダイレクト選局	15
お好みの放送局を登録する	16
登録した放送局を選んで聴く	17
FMモード時のステレオ切替	18
帯域幅の切替方法	19
アンテナの調整	20
イヤホンで聴く	20
■スケルチ機能(エアバンド時のみ)	21
■その他の機能	22
周波数ステップ	22
アラームを設定する	22
ロック機能	23
スリープ機能の設定	24
シャットダウン	25
リセット(初期化)する	25
■トラブルシューティング	26
■仕様	27
■保証書	28
■MEMO	29

エアバンドについて

AIR(エアバンド)

日本では民間航空の無線通信として118～137MHzが使われており、会話はすべて英語でされています。

空港の各管制席や航空交通管制部の各セクターそれぞれに特定の周波数が割り当てられており、飛行機は出発から到着までの各段階に合わせて周波数を次々と切り替え、それぞれの担当の管制官と通信を行っています。

受信範囲は空港の半径100km圏内と山頂などに中継所があれば、その半径100km圏内でも環境により受信することができます。

注意：

本機はエアバンドを受信することができますが傍受した通信内容を漏らしたり、窃用することは電波法で禁じられています。

屋外で周りに人気のある場所でご使用になる場合は必ずイヤホンをご使用ください。

また日本以外の国では法律が異なりますのであらかじめお調べの上、ご持参ください。(国によっては所持だけで違法になる国もあります。)

詳しくは国土交通省のHPをご覧ください。

LW/SWについて

LW(長波 Long wave)

長波放送を配信している国は欧州・トルコ・アフリカ・ロシア・モンゴルなどの国で、日本でも秋から春にかけて夜間を中心にロシア沿岸州やモンゴルの放送を受信することができます。

SW(短波 Short wave)

地表と電離層との反射を繰り返しながら地球の裏側まで伝わっていくことができ、日本で世界各国のラジオを楽しむことができます。短波の周波数帯は混信しないように国際協定で放送局ごとに使える周波数帯が割り当てられており、この周波数帯をメーターバンドと呼びます。メーターバンドは全部で14バンドあり、バンドにより受信できる放送局やそれぞれの特長があります。

日本短波放送の周波数

- ラジオ NIKKEI 第1放送
3925/6055/9595 kHz
- ラジオ NIKKEI 第2放送
3945/6115/9760 kHz

安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

電気製品は正しく取り扱うことで安全にご使用いただけます。誤った使い方はお使いになる人や他の人への危害、財産への損害につながる可能性があります。

このような事故を未然に防止する為、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を表示します。

警告

警告

本体について



分解、改造しない

機器が故障し、やけどや火災の原因になります。



幼児やペットなどに誤って触らせない

やけどや大けが、火災の原因になることがあります。



本体内部に水や異物を入れない

機器が故障し、やけどや火災の原因になります。

安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

警告

電池について

電池の誤った使いかたをしない

- ・火中に入れない
- ・ショートさせたり、分解、加熱しない
- ・電池は充電しない
- ・指定された種類以外の電池は使わない
- ・⊕と⊖を逆に入れない
- ・金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない
- ・使い切った場合や、長時間使用しない場合は、本体から取り出しておく
- ・新旧の電池、種類の違う電池を混ぜて使わない
- ・液もれした電池は使わない
- ・被覆のはがれた電池は使わない
- ・乳幼児の手の届く所に置かない

ACアダプター(別売)について

ACアダプターは指定する定格のものを使う

指定外の電圧や電源で使用すると、火災や感電の原因になります。プラグは根元まで確実に差し込んでください。

プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。ACアダプターを抜き、乾いた布で拭いてください。長期間使用しないときは、ACアダプターを抜いてください。

4

安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。



注意

この表示の注意事項を守らなかった場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を表示します。

注意

本体について

異常に温度が高くなるところに置かない

- ・機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- ・夏季の車中や直射日光のあたるところ、暖房器具の近くでは特にご注意ください。

磁気の影響を受けやすいものを近づけない

- ・スピーカーの磁気の影響でキャッシュカードや定期券、時計などが正しく働かなくなることがあります。

音量を上げすぎない

- ・イヤホンを使用する際は、耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えます。

不安定な場所に置かない

- ・振動、衝撃の多い場所、ぐらついた台などの上、傾いた所など不安定な場所に置くと、落下の恐れがあり、故障の原因になります。

本体をベンジン、シンナーなどで拭かない

- ・変形、変色の原因になります。

5

安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

⚠ 注意

電池について

電池の液がもれた時は素手で液をさわらない

- ・液が身体や衣服についた時は、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚に炎症やけがの症状がある時には医師に相談してください。
- ・電池内部の液が目に入った時は、こすらずすぐにきれいな水で洗い、ただちに医師に相談してください。

火のそばや直射日光のあたる場所、炎天下の車中など、高温になる場所で使用、保管、放置しない

電池を落下させたり、投げつけたり強い衝撃を与えない

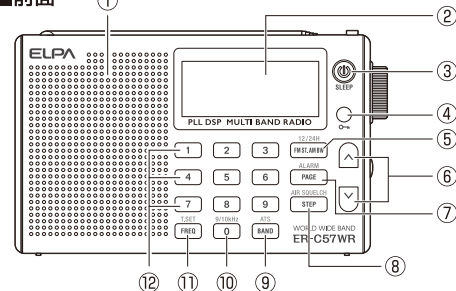
電池の外装フィルムをはがしたり、傷つけたりしない

- ・電池に表示されている注意事項もあわせてお読みください。

6

各部の名称

■前面

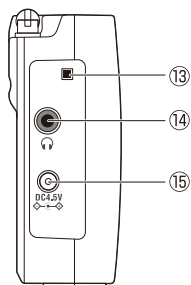


- ① モノラルスピーカー
- ② 液晶画面
- ③ 電源/SLEEPボタン
電源のON/OFF、スリープ機能の設定
- ④ ロックボタン
- ⑤ 12/24H FM ST, AM BW /12/24Hボタン
AM帯幅の変更、12/24時間表示の切換
FM放送時モノラル/ステレオ選択
- ⑥ ▲ ▼ 上下ボタン
- ⑦ ALARM PAGE /PAGE/ALARMボタン
ページの選択、アラーム時間の設定
- ⑧ AIR SQUELCH STEP /STEP/AIR SQUELCH ボタン
周波数ステップ、スケルチ機能の設定
- ⑨ ATS BAND /BAND/ATSボタン
バンド切換/オートスキャン
- ⑩ 9/10kHz 0 /0、9/10kHzボタン
数字の0、9/10kHz切換
- ⑪ T.SET FREQ /FREQ/T.SETボタン
周波数/時間の入力
- ⑫ 1 ~ 9 数字ボタン

7

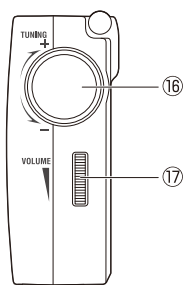
各部の名称(つづき)

■左側面



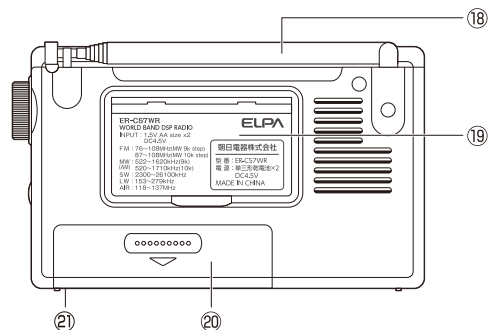
- ⑬ストラップホール
- ⑭イヤホンジャック
- ⑮DC4.5V
ACアダプタージャック

■右側面



- ⑯選局ツマミ
FAST/SLOW/STOP
モード切替
- ⑰音量調整ダイヤル

■背面

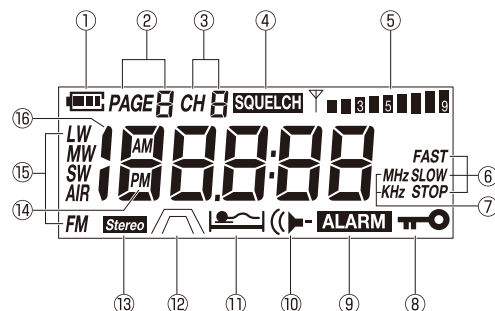


- ⑱ロッドアンテナ
- ⑲スタンド
- ⑳電池ボックス
- ㉑リセット穴

8

各部の名称(つづき)

■液晶画面



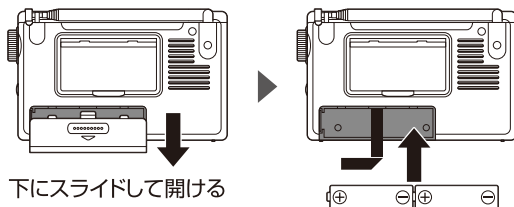
- ①電池残量表示
- ②ページ番号
- ③チャンネル番号
- ④AIR SQUELCH
- ⑤信号強度
- ⑥FAST/SLOW/STOP
モード
- ⑦周波数
- ⑧ロック
- ⑨アラーム
- ⑩アラームON
- ⑪スリーブ
- ⑫AM周波数帯域
- ⑬FMステレオ表示
- ⑭AM/PM
- ⑮局表示
- ⑯時間(電源OFF時)
周波数(電源ON時)表示

9

電源について

電池を使用する

背面の電池ボックスのフタを開け、本体の⊕⊖表示に合わせて単三形アルカリ乾電池2本(別売)をセットし、フタを元通りに取りつけます。

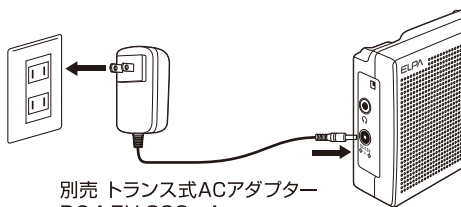


下にスライドして開ける

ACアダプターを使用する

ACアダプター(別売)のプラグを本体左側面のDCジャックに差し込み、ACアダプターをコンセントに差し込みます。

※極性統一プラグ(JEITA規格)をご使用ください。
極性統一プラグ以外のACアダプターを使用すると故障の原因となることがあります。



別売 トランス式ACアダプター
DC4.5V 300mA
◇—◇ (JEITA極性統一形)

10

時刻を設定する

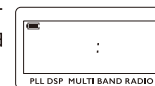
1 時刻の設定

電源がOFFの状態
「FREQ/T.SETボタン」を
約2秒間長押しすると時計設定
モードに入ります。



※約5秒間、何も押さない場合、元の表示に戻ります。

液晶画面に「:」が表示されます
ので0~9の数字ボタンを押
して時刻を設定します。



※時刻の設定をする際は、24時間制で入力してください。

例) PM9:50に設定するとき
は2-1-5-0の順に数字ボタンを押します。

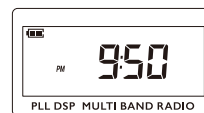


2 時間表示の切換

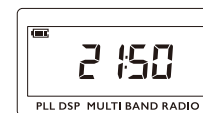
電源OFFの状態
「FM ST.AM BW/12/24Hボタン」を
長押しするたびに、12/24時間
表示を切り替えることができます。



● 12時間表示



● 24時間表示



11

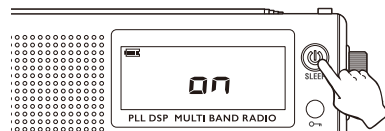
ラジオを聴く

1 電源を入/切する

「電源/SLEEPボタン」を押すと電源が入ります。

※画面に約2秒ほど「on」と表示されます。
※スリープ機能が設定されている場合は、設定されている時間が表示されます。

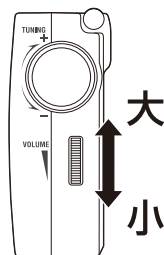
もう一度「電源/SLEEPボタン」を押すと電源が切れます。



2 音量を調整する

本体右側面の音量調整ダイヤルで音量を調整します。

※初めからボリュームを上げすぎないでください。突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。



12

ラジオを聴く

3 バンドを切替える

電源ONの状態、「BAND/ATSボタン」を押すとLW→MW→SW→AIR→FMの順にバンドが切替わります。



●バンド別 受信周波数

FM	76.0-108MHz(MW(AM)9k step時) 87-108MHz(MW(AM)10k step時)
MW(AM)	522-1620kHz(9k step) 520-1710kHz(10k step)
SW	2300-26100kHz (日本短波放送の周波数→P.2参照)
LW	153-279kHz
AIR	118-137MHz

※電源OFF時に「0ボタン」を約2秒間長押しすると、MWモード時の9k/10k stepを選択できます。

MW放送 周波数ステップ幅の切替

日本をはじめ世界の大多数の国々が9kHzの周波数ステップで放送を行っていますが、一部の地域では10kHzの周波数ステップで放送しています。ご使用になるときは、その地域の周波数ステップ幅に合わせてください。

電源OFF時に数字の「0ボタン」を約2秒間長押しすると、MWモード時の9k/10kHzのステップ幅を選択できます。



※日本国内は9kHzに設定してください。

- 北米、南米の国々 …… 10kHz
- その他の国々 …… 9kHz

13

ラジオを聴く

4 選局する

マニュアル選局/オートスキャン選局/ダイレクト選局から選局方法を選ぶことができます。

マニュアル選局(手動で選局)する

① 上下ボタンで選局する場合

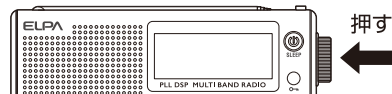
「上下ボタン」を短押しすると、以下のステップで周波数を変更することができます。



FM	100kHz
MW(AM)	9kHz(9k step)
	10kHz(10k step)
SW	5kHz
LW	3kHz
AIR	5kHz

② 選局ツマミで選局する場合

選局ツマミを押すとFAST/SLOW/STOPの順にモードが切り替わり、それぞれのモードで選局ツマミを回して周波数を変更することができます。



それぞれの周波数は下表の通りです。

	FASTモード	SLOWモード
FM	100kHz	10kHz
MW(AM)	9kHz(9k step)	1kHz
	10kHz(10k step)	
SW	5kHz	1kHz
LW	3kHz	1kHz
AIR	5kHz	1kHz

●STOPモードでは選局ツマミでの周波数の変更はできなくなります。

ラジオを聴く

オートスキャン選局(自動選局)/登録する

① 上下ボタンでオートスキャン選局をする
「上下ボタン」を約2秒間長押しすると自動的に周波数が変わり、放送を受信すると停止します。



② BAND/ATSボタンでオートスキャン登録する

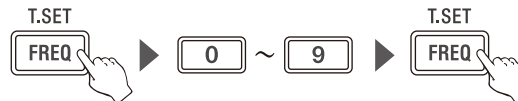
「BAND/ATSボタン」を約2秒間長押しすると自動的に周波数が変わり、放送を受信するとPAGE0~9の中のCHO~9チャンネルの順に自動で登録します。



※AIRモードにはオートスキャン登録機能はありません。
※オートスキャンを行うと自動でチャンネルが上書き登録されます。上書きしたくないチャンネルがある場合は、あらかじめ上書きされない範囲をご確認ください。

ダイレクト選局

「FREQ/T.SETボタン」を押し、0~9の数字ボタンで周波数を直接入力することができます。入力を完了すると、自動で放送局を確定します。



●FMモードで小数点を入力する必要はありません。

例) FMモードで「8020」と入力すると自動的に80.200MHzとなります。

また、もう一度「FREQ/T.SETボタン」を押すことで省略することができます。



※入力中にしばらく操作がない場合は、入力前の状態に戻ります。

ラジオを聴く

5 お好みの放送局を登録する

オートスキャン登録を行うと、CH 0から順にオートスキャンで受信した周波数が自動で上書きされますので、あらかじめオートスキャンで上書きされにくいCHを確認し、登録することをお勧めします。

各バンドで、PAGE0～9の10ページ、各ページごとにCH0～9の10チャンネル、計100チャンネル(全バンド合計500チャンネル)を登録することができます。

① PAGE(ページ)を切替える

電源を入れた状態で、「PAGE/ALARMボタン」を押すと液晶画面に「PAGE」と「CH」が表示され「PAGE」が点滅します。



点滅している間に、0～9の数字ボタンでチャンネル登録したいページの番号を押してページを切替えます。

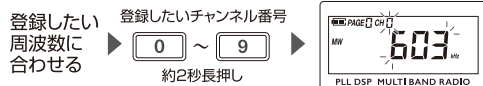
PAGEが点滅している間に数字ボタンを押す



② CH(チャンネル)を登録する

「PAGE」と「CH」の表示が消えたら、登録したい周波数に合わせた状態で、登録したい番号の0～9の数字ボタンを約2秒間長押しするとチャンネルの数字と周波数が点滅し、登録が完了します。

数字キーを約2秒間長押しするとチャンネル番号と周波数が点滅します



ラジオを聴く

6 登録した放送局を選んで聴く

電源を入れた状態で「PAGE/ALARMボタン」を押すと液晶画面に「PAGE」と「CH」が表示され「PAGE」が点滅します。

点滅している間に、0～9の数字ボタンで登録したページの番号を押し、続いて0～9の数字ボタンで登録したチャンネル番号を押すと登録した放送局に切替わります。

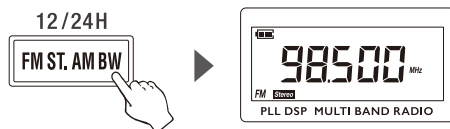
PAGEが点滅している間に数字ボタンを押してページを選択



ラジオを聴く

7 FMモード時のステレオ切替

電源ONの状態ではFMモードでFM放送を受信時に「FM ST.AM BW/12/24Hボタン」を押すとステレオに切替えができます。液晶画面に **Stereo** が表示されます。



ステレオ起動時:液晶画面に **Stereo** マークが点灯
ステレオ終了時:液晶画面に **Stereo** マークが点滅し、消灯

※ステレオ起動時、ステレオのチャンネルを検索した場合、**Stereo** マークを自動的に液晶画面に表示します。

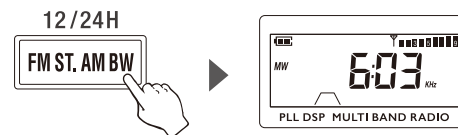
※内蔵スピーカーはモノラルです。ステレオに設定した場合は、ステレオイヤホンなどでお楽しみください。

ラジオを聴く

8 帯域幅の切替方法

電源ONの状態ではLW/MW/SW/AIRモード時に液晶画面に帯域幅マーク「 \wedge 」が表示されます。「FM ST.AM BW/12/24Hボタン」を押すたびに、広い帯域幅と狭い帯域幅に切替えができます。

目的の放送局が混信したり、ノイズが多く聴きづらい場合は、このボタンで帯域幅を切替え、より聴きやすいように調節してください。

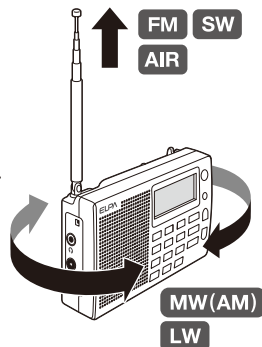


ラジオを聴く

アンテナの調整

FM/SW/AIR 放送
ロッドアンテナの長さを調整してください。

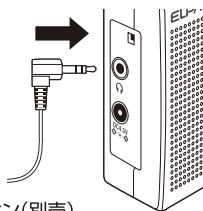
MW(AM)/LW 放送
本体内蔵のバーアンテナが動きます。
本機の向きを調整してください。



※建物や乗り物の中では電波が弱まり、聞こえにくくなることがあります。できるだけ窓際でお使いください。

イヤホンで聴く

Φ3.5mmステレオミニプラグを奥までしっかり差し込んでください。



イヤホン(別売)

※イヤホンを接続するとスピーカーからの音声は出力されません。

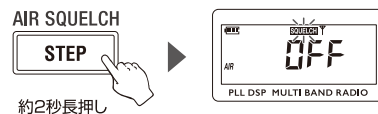
スケルチ機能(AIRバンド時のみ)

AIR SQUELCHとは...

無信号時にスピーカーやイヤホンから出力される耳障りで不快な雑音(ノイズ)を遮断し、無音状態にするための機能です。

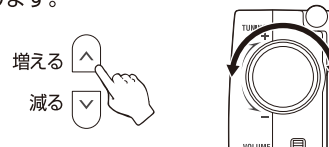
設定したスケルチレベルより大きい信号が受信された時、自動的に音が出力されます。

電源ONの状態でもAIRモード時に「STEP/AIR SQUELCHボタン」を約2秒間長押しするとスケルチ設定モードになり、液晶画面に **SQUELCH** マークが点滅します。



約2秒長押し

SQUELCH マークが点滅している間に、「上下ボタン」を短押しし、または選局ツマミを回してスケルチレベルを調整します。



スケルチレベルはOFF、1～9まで設定できます。数字が大きいほど強い信号でなければ受信できません。

その他の機能

周波数ステップ

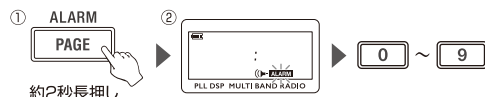
FM/LW/MW/SW/AIRモード時に「STEP/AIR SQUELCHボタン」を押すと周波数をステップできます。

FM	1MHz	MW(AM)	100kHz
LW	10kHz	AIR	1MHz
SW	各バンド (2300/3200/3900/4750/5730/7100/9250/11500/13570/15030/17480/18900/21450/25670 kHz)		

アラームを設定する

1 時刻の設定

- ①電源がOFFの状態ですべてのボタンを約2秒間長押しするとアラーム設定モードに入ります。
- ②(▶)マークが表示され、ALARMマークが点滅している間に、0~9までのボタンを押して時刻を設定します。



※時刻の設定をする際は、24時間制で入力してください。

- ③時刻表示の下に (▶)ALARM マークが表示され、アラームがONの状態になります。

2 アラームをOFFにする

アラームをONにした状態で「PAGE/ALARMボタン」を長押しするとアラームの時刻表示になり(▶)マークが消えて、ALARMマークが点滅し、アラームがOFFになります。液晶画面の(▶)ALARMマークが消えます。



22

その他の機能

3 アラームをONにする

アラームOFFの状態ですべてのボタンを長押しすると、アラーム設定モードになりますので、時刻を変更しない場合は、もう一度「PAGE/ALARMボタン」を押します。

時刻を再設定する場合は1の手順で、時刻を入力するとその時間で設定されます。

4 時刻とアラームの表示切換

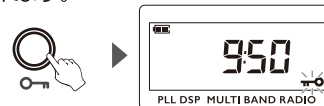
電源OFFの状態ですべてのボタンを短押しすると時計と設定したアラーム時刻の表示が切替わります。

約3秒間何も操作しないと時計表示に戻ります。



ロック機能

「ロックボタン」を押すと液晶画面に🔒が表示され、音量調整ダイヤル以外のすべてのボタンがロックされます。



ロックを解除する際は「ロックボタン」を約2秒間長押しします。



23

その他の機能

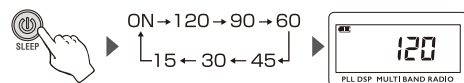
スリープ機能の設定


スリープ機能で時間を設定すると、設定した時間(分)で自動的に電源が切れます。

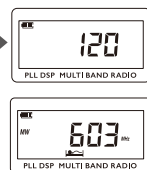
- 1 「電源/SLEEPボタン」を押すと液晶画面にONと約2秒間表示されます。
※すでにスリープ機能が設定されている場合は、設定されている時間が表示されています。



- 2 液晶画面にONと表示されている間に、続けて「電源/SLEEPボタン」を押すと、スリープタイマが順に表示されますのでスリープ機能を作動させたい時間で止めると時間(分)が設定されます。



スリープ機能が設定中は周波数表示の下に  マークが表示されます。



スリープ機能をOFFにする際は、「電源/SLEEPボタン」をもう一度押して、ラジオの電源をOFFにしてから、再度「電源/SLEEPボタン」を押して上記の手順で「ON」に設定します。

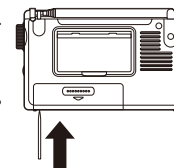


※スリープ機能をOFFにするまで、電源ONにする度にスリープ機能が動作します。



その他の機能

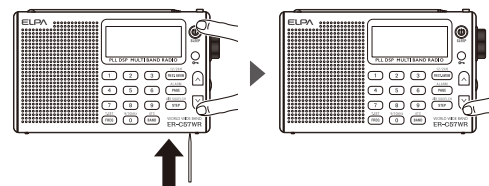
シャットダウン

使用時に動作しなくなった時に、本体底面にある「RESET」をつまようじ等で押すと、緊急シャットダウンすることができます。
※登録メモリーや時刻設定などはリセットされません。



リセット(初期化)する

本機を初期化する場合は、「電源/SLEEPボタン」と「上下  ボタン」を押した状態で本体底面にある「RESET」をつまようじ等で押すと、LCD表示が全て表示され、バックライトが点滅します。その後「上下  ボタン」を再度押すと、初期化が完了です。



トラブルシューティング

修理を依頼する前に、下記の内容をご確認ください。

症状	原因および解決方法
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・電池が入っていますか？ ・電池の残量は残っていますか？ ・電池が正しい向きで入れられていますか？ ・音量が最小になっていませんか？ ・イヤホンが接続されたままになっていませんか？ ・イヤホンが奥まで差し込まれていますか？
雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> ・電池が消耗していませんか？ ・アンテナを調整していますか？ ・近くで携帯電話を使用していませんか？ ・テレビやパソコン、蛍光灯などの近くでAM放送を受信していませんか？ ・推奨するACアダプターを使用していますか？
MW(AM)が選択できない	<ul style="list-style-type: none"> ・STEPが異なっていませんか？ ・P.13をご確認ください。
動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ・シャットダウンしてください。 ・P.25参照
AIRで音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・AIR SQUELCH機能を設定されていませんか？ ・P.21をご確認ください。
選局ツマミで周波数が変更できない	<ul style="list-style-type: none"> ・選局ツマミを押して、FASTもしくはSLOWモードにしてください。
途中で電源が切れる	<ul style="list-style-type: none"> ・電池が消耗していませんか？ ・スリープ機能が設定されていませんか？

仕様

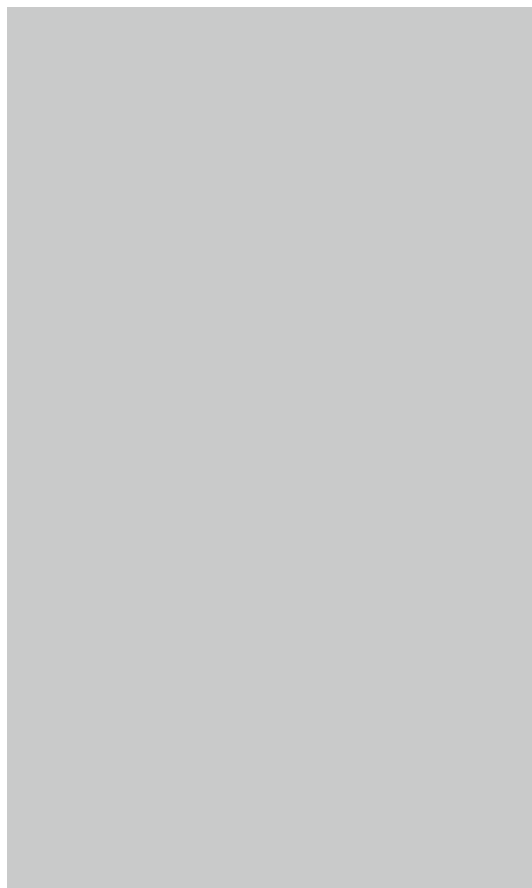
受信周波数	FM:76.0~108MHz(MW(AM)9k step時) 87.0~108MHz(MW(AM)10k step時)	
	MW(AM):522~1620kHz(9k step) 520~1710kHz(10k step)	
	SW:2300~26100kHz	
	LW:153~279kHz	
	AIR:118~137MHz	
スピーカー	25Ω 0.5W	
出力端子	Φ3.5mmステレオミニジャック	
電源	DC3V単三形アルカリ乾電池×2本(別売) DC4.5V 300mA(別売ACアダプター使用時) ◇—C—◇(JEITA極性統一形)	
外形寸法(約)	幅128×高さ78×厚さ32(mm)	
質量	約178g(電池を除く)	
電池持続時間 (JEITA) <small>※使用環境により異なります</small>	スピーカー使用時	
	MW(AM)	約 70時間
	FM	約 60時間
	SW	約 50時間
	LW	約 70時間
	AIR	約 50時間
	イヤホン使用時(目安)	
	MW(AM)	約 100時間
	FM	約 100時間
	SW	約 90時間
LW	約 100時間	
AIR	約 80時間	

※定格インピーダンス:32Ωのイヤホン使用時

※仕様及び外観・外装は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

※製造には万全を期しておりますが、万一不良のあった場合は良品と交換いたします。それ以外の責はご容赦ください。

保証書



MEMO

お客様ご購入された際の購入情報やその他の情報のメモページとしてご利用ください。

お客様メモ

A series of horizontal lines for writing customer notes, enclosed in a rounded rectangular border.